

日時：令和 8 年 7 月 31 日(金) 9 時 55 分～11 時 30 分

場所：西宮市民会館 中会議室 301

出席者：委員 17 名

次第

1. 開会

- (1) 開会挨拶
- (2) 委員及び出席者紹介

2. 議題

- (1) 阪神南地域サステナブルツーリズム連絡協議会 設置要綱(案)について
- (2) 会長、副会長選出
- (3) サステナブルツーリズムによる阪神南地域の魅力発見プロジェクト事業実施計画(案)

議題(1) 協議会の設置要綱について

設置要綱案の説明⇒承認

施行期日：令和 8 年 7 月 31 日

議題(2) 会長、副会長選出

全体からの推薦無し、事務局の推薦により下記 2 名を選出⇒承認

会長：武庫川女子大学社会連携推進センター センター長 福井 誠

副会長：兵庫県阪神南県民センター西宮土木事務所 事務所長 勝野 真

議題(3)サステナブルツーリズムによる阪神南地域の魅力発見プロジェクト事業実施計画(案)

・資料修正について

資料 3 目標 KPI が①～③の記載になっている。正しくは①～⑤まで⇒後日修正予定

【質疑応答】

Q. KPI と R8 年度の（各）事業の紐づきはどうなっているか？

⇒1 つ 1 つのイベントで大きく効果があるとはなかなか考えにくいと思っている。総合的なイベント、動き全てのものの相乗効果で KPI を謳っていききたい。

Q. デジタルスタンプラリーで回るポイントの魅力をもう少しはっきりさせていくべき。ポイント自体が集客できる場所なのかそうでないのかも含めて幹事会において回るポイントや集客できる場所などをピックアップしていくことが良いと思う。

⇒幹事会にてアイディアを持ち寄って、来年はさらによりよい方法で進めていきたい。

Q. 人が既に集まっている場所、例えば阪神甲子園球場との連携は不可能なのか？

⇒今回の事業では KPI 候補から外していたが、今後より事業効果を高めていくためにも、今回の KPI 設定施設以外の施設も含め連携をしていきたい。

Q. 情報発信は現在こういった形で行っているのか？

⇒現時点では、広報はできていない。8月中旬頃に県の記者発表、その後にHP・Instagramでの広報を予定している。武庫川関係の事業は小学校の保護者が見ることができる掲示板に掲載をする予定。鉄道関係者様の各駅パンフレットラックに事業のチラシをご依頼したいと考えている。

Q. サステナブルツーリズムということで公共交通利用をPRすることが必要と考える。そちらへの誘導はどのように考えているのか？

⇒鉄道3社様の南北をどうつないでいくかをキーに考えている。スタンプラリーやサイクルロゲイニングなどのマップスポットは距離もあるので「鉄道＋徒歩」「鉄道＋自転車」など鉄道を活用しながらの参加を促していきたい。

【ご意見・感想】

- ・地域外の方に地域資源を認知してもらい周遊を促進するため、ルートマップの作成をするべき。
- ・来てもらうために、どのような情報発信をすべきかを考えるべきだが、ターゲットが地域内市民なのか、広く2府4県なのかが分からない。
- ・あるスタンプラリーの参加者はアプリのプッシュ通知から参加する方がほとんどである。
- ・阪神南地域からアクセスしやすい六甲山もツーリズムの中に入れていただきたい。
著名な方に講演をしていただく等のご協力もできる。
- ・阪神南地域は魅力のある施設が多く、生活・文化がもととなっているため、なかなか地域の方が魅力に気づけていない。学生を通じたイベントでそのあたりの魅力を地域の方に伝えられるようにしたい。
- ・地域住民のシビックプライドの醸成は大切。
- ・KPIとの関係性は幹事会で協議をお願いします。
- ・単にスタンプラリーを実施するだけではなく、せっかく土木インフラを対象にするのであれば、何か“学び”の要素もあると良い。なぜ、尼ロックや21世紀の森が作られたのか、災害を克服し環境を再生させてきた歴史を踏まえ、施設の目的や構造等の説明ができれば。
- ・土木インフラは、中高生の教育旅行を誘致するのに相性が良い。他府県から旅行客を呼び込めると食事や宿泊につながり、地域にお金がおちる。
- ・尼崎市内では、公共施設や公園、コンビニなど市内一円にシェアサイクル事業が展開されている。鉄道からシェアサイクルの2次交通を活用することで、地域内を自由に周遊してもらえる。
- ・イベントの参加対象範囲を地域内外のどこまで広げるのか、またファミリーやスポーツ層など誰をターゲットにするのかによって、HP・SNS・紙媒体など最適な広報の手法が変わる。
- ・阪神そぞろ歩き、阪急ハイキングで周遊箇所土木インフラを組み込んでいただき、広報効果が大きかったと認識している。
- ・本プロジェクトで実施するソフト事業と各団体で実施されている既存のイベントと可能な範囲で連携をお願いしたい。
- ・自転車のサイクルラック設置場所の検討は幹事会での協議をお願いします。